

花森安治の 仕事から 学んだこと

建築家 中村好文
お話し会



中村好文 [なかもら・よしふみ]

■略歴

1948年 千葉県生まれ。
1972年 武蔵野美術大学建築学科卒業。
1981年 レミングハウス設立。
1987年 「三谷さんの家」で第1回 吉岡賞受賞
1993年 「一連の住宅作品」で第18回 吉田五十八賞「特別賞」受賞
1999年～現在 日本大学生産工学部 建築工学科研究所教授

■主な建築の仕事

「三谷さんの家」「上総の家」「美術館 as it is」「扇が谷の住宅」
「Rei Hut」「伊丹十三記念館」「明月谷の住宅」「Hanem Hut」

■主な著書

『住宅巡礼』『住宅読本』『意中の建築 上・下巻』
『中村好文 普通の住宅、普通の別荘』『中村好文 小屋から家へ』
『中村好文 集いの建築、円いの空間』

「人の暮らしに寄り添った、普段着のように居心地のよい住宅」をつくってきた建築家の中村好文さん。

その中村さんがかねてから尊敬している先達の中に、暮らしの手帖初代編集長・花森安治さんがいらっしゃいます。現在、岩手県立美術館で開催中(10/15まで)の「花森安治の仕事ーデザインする手、編集長の眼」。

中村さんは今春、世田谷美術館で一足先にこの展覧会をご覧になっています。

そこであらためて花森さんの仕事に感銘を受け共感した中村さんは、この展覧会の素晴らしさをたくさんの方々にお伝えしたいとの気持ちが膨らみ「花森安治の仕事から学んだこと」と題して、盛岡でお話し会を開くことにしました。

すでにこの企画展をご覧になった方もこれからの方も、中村さんのお話を聴いてみませんか。
新しい面白さや視点が発見できることと思います。

2017年9月24日(日)

岩手県公会堂 21号室 / 13:30開場、14:00開演 /
入場料1,500円 / 定員80名

■お申し込み方法 / 9月10日(日) 11:00より

◎メール: tegami@kissa-carta.com

件名: 「中村好文お話し会申し込み」とし、お名前・希望人数・当日連絡のつく電話番号をお書き添えください 電話: 019-651-5375 [喫茶carta(カルタ)]

■主催 / 好文さんお話し会実行委員会 ■特別協力 / 岩手県立美術館

■協力 / we design・岩井沢工務所・六月の鹿・喫茶carta



東麻布の暮らしの手帖研究室にて
1967年9月 写真提供: 暮らしの手帖社



『美しい暮らしの手帖』1世紀19号
表紙原画) 1953年3月
世田谷美術館蔵

花森安治 [はなもり・やすじ]

終戦もない1948年、「衣・食・住」を基本にすえた生活家庭雑誌『美しい暮らしの手帖』(のちの『暮らしの手帖』)を創刊した花森安治(1911-1978)。もののない時代に工夫とアイデアによる豊かな暮らしを提案。食品添加物や公害問題が叫ばれた70年代には、社会の矛盾を鋭くえぐる批評を紙面で展開、ペンで権力に挑んだ。30年間にわたり一切広告を入れず、発行100万部に迫るまでに成長した『暮らしの手帖』を率いて、表紙画やカット、誌面レイアウト、広告デザインなど、取材や執筆はもとより、雑誌の制作から宣伝まで、すべてを手がけた。